

事業所防災リーダーに向けて、防災知識や防災に関するお知らせ等を定期的に発信します。



【事例紹介】株式会社 友伸エンジニアリング

実際の事業所でどのような防災に取り組んでいるのかをご紹介します。皆さんも参考にしてみましょう。



3.11 の経験を元にした災害発生時の備え

福島県南相馬市にある鹿島工場は、3.11 東日本大震災で被災しました。工場には、大きな被害はありませんでしたが、社員の家が津波で流されてしまったり、身内に不幸があったりしました。同社が所有するグラウンドに仮設住宅を建て、復興支援に力を入れました。この経験を元に、友伸エンジニアリングでは、社長を防災総責任者とした防災管理組織を編成し、下記の備えを行っています。

災害発生時の
情報共有手段
の確保

- ・ 社員用の**SNS掲示板**を設置
- ・ 掲示板とは別に全社員への**連絡手段**も用意

災害発生時にスムーズ
に使用できるよう、
日常的に使用



立地を踏まえ
た防災訓練の
実施

本社の所在地は、
浸水ハザードマップ上
浸水想定区域内



出典:多摩川洪水ハザードマップ

- ・ 浸水対策訓練、浸水避難訓練、緊急垂直避難訓練を実施
- ・ 近隣の**自治会**と**相互協力**の打ち合わせを実施

災害発生による
精神的負担
の軽減



精神保健福祉士と契約し、
カウンセリングがスムーズ
に行えるよう準備

毎月1回は来社していただき
普段から社員と会話する工夫



各事業所で実施する、多種多様な防災訓練



消防署や立川防災館と連携して、さまざまな防災訓練を各事業所で年2回、実施しています。

【訓練内容】

- ・ 火災通報訓練
- ・ 避難誘導訓練
- ・ 避難訓練
- ・ AED操作訓練
- ・ 地震発生から身を守る訓練
- ・ 初期消火訓練
- ・ 起震車体験訓練 等



▲AED操作訓練の様子
(本社・東京工場)



▲消火訓練の様子
(福島県・鹿島工場)

起震車体験訓練

- 関東大震災
- 阪神・淡路大震災
- 東日本大震災



それぞれの揺れの強さや振幅、揺れている時間を体験し、被災者の方の地震への恐怖を疑似体験。
→ 自助・共助を含めた防災のあり方を再認識し、**日々の備え、防災に対する訓練を継続的に実施することの重要性を実感しています。**



▲起震車体験の様子
(本社・東京工場)

事業所概要

株式会社 友伸エンジニアリング

- 従業員数:116人
- 業務内容:システム開発、電気・計装盤類の設計、製作等



東京消防庁からのお知らせ

東京消防庁では、毎月、季節やそのときどきで問題になる防災にまつわる事柄をテーマに情報発信をしています。今月は「**自衛消防活動の事例**」をピックアップしています。是非ご覧ください！

[東京消防庁HP](#) →

